朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通　特別
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用　營業局專用
發行人　編輯人　印刷人

日ソ漁業本協定の締結交渉を繼續
權益確保にソ側を説得

【東京國通】日ソ漁業協定は二日漸く妥結を見たが右は今年末までの暫定協定であるから日ソ兩國間には今後依然として本協定締結の交渉が繼續される譯であり、わが方としてはポーツマス條約に基く漁業權益の確保を目標にソ側の説得につとめる方針である、なほ今回の協定は四日の閣議を經て樞府御諮詢の手續を執つた、よつて御諮詢の濟み次第今週中にも正式調印の運びとなるものと見られるが、わが方では四日執行される競賣は右調印手續完了前行はれるので同協定の效力發生後當然遡及效力を有するものと解されてゐる

協定交渉經緯

【東京國通】二日妥結を見た日ソ漁業協定に關し外務省では四日午後一時同交渉の經緯とその協定要項を左の如く發表した

□　□

外務省發表＝北洋漁業交渉に關する日ソ兩國間の交渉は四月二日に至り遂に圓滿なる妥結に達し、同日夜半東郷大使とリトヴィノフ外務人民委員との間に協約に調印を了するに至つたが、二月末發表後今回妥結に至るまでの交渉經過は左の通りである

三月以降東郷大使は三月八日、十一日、十四日、廿二日、廿六日、廿八日、卅一日、四月一日及び二日九回にわたりリトヴィノフ外務人民委員と折衝し、その間西參事官はタラブキン極東部次長との交渉に當り激論數時間にわたつたことも少なくなく決裂の危機に瀕したことも一再でなかつたが、わが方は權利確保につき確固たる決意を持しつゝも常に條理を盡し説得に努めたのである、三月八日以後の會見に於て東郷大使は除外漁區に對し代漁區を求めるのは不當であるとのソ聯側の議論を駁し、且つ安定漁區に日本側の主張を強く表明し更に三月十五日に豫定された競賣の延期を勸告するに努めソ聯側が一方的主張を強行する結果生ずべき事態に對してはソ聯側において重大な責任を負はねばならないことを強調して反省を促すところがあつた、三月十五日ソ聯は豫定通り競賣を強行し、從來日本人が經營した漁區には大體において手を觸れることがなかつた漁區の安定漁區中の四個、並に帝國臣民の經營せる漁區にして、除外方を提議したる漁區の代漁區として競賣に當るべき旨申入れ中であつた漁區六個を落札した

右に對し在ソ帝國大使館においては十九日附公文を以て嚴重抗議し競賣の效果を否認する旨ソ聯政府に申出た、爾後交渉を繼續し三月末迄に大體實質上の妥結に達したのでそれらの點を如何なる文書に取纏むべきかの點に關する交渉に移り遂に四月二日夜半に至り圓滿なる妥結に達し、わが方においては四日ウラジオにおいて行はれる競賣に參加することゝなつた次第である

本件妥結の結果を要約するに左の通り

イ、一九二八年漁業條約は本年末まで有效とすること

ロ、特別契約漁區は後述の除外漁區四區を除き契約を一年延長すること

ハ、安定漁區については後述の除外漁區を除きこれを競賣に出すこと、但し（A）入手する見込確實（B）右入手漁區は五年間貸付らる（C）借區料は一割以上値上げなし（D）三月十五日ソ側に競落せる三區は日本側に返還する

ニ、除外漁區

安定漁區より　三二漁區
特別漁區より　四漁區
貸付期間中の漁區より　一漁區
合計　三七漁區

を漁業條約附屬議定書甲第八十條の例外として競賣より除外する、但しこれに對しては十漁區が代漁區として提供せられ、内九漁區は競賣により五年間貸付けらる

ホ、わが方漁區にして期間滿了につき競賣に出されたる舊漁區は五ヶ年の期限を以て競落する

ヘ、貸付期間中であつた五十二漁區は引續き貸付けらる

ト、ルーブル換算率は据置き

即ち從來の所謂安定漁區は既に滿期に達してゐるのでこれを競賣に出す件においてソ側の主張は認めたが、除外漁區のほか全部これを日本側において競落し、且つ五ヶ年間の漁區安定を得、また除外漁區については廿七個を經營しないこととなしたが、なほ約三百六十漁區を經營する次第で、要するに今次交渉の結果はわが方において總數約三百六十漁區を獲得し、その内二百六十四漁區の五ヶ年安定を見るに至つた次第である

水産組合第一船
早くも十日函館出港

【東京國通】日ソ暫定漁業協定の妥結により露領水産組合では四月十日函館出港ソーブリ漁場の鹽漁場に向ふ日魯漁業の第三雲洋丸外一隻を第一船として、豫定通り九月末の漁場引揚げまでに延隻數百四十五隻の北洋漁船を派出すことゝなつた

滿洲國官邊觀測

日ソ間當面の重大外交懸案たる漁業問題は三日モスクワに於て暫定的取極が行はれたが右に關し滿洲國外務官邊筋では左の如き觀測を下してゐる

暫定協定が急を要する餘り政府承認を條件として妥結せられたことは一時的にせよ漁區問題を小康化せしむるに効果があらう、然して右妥結の内容が如何なるものか公表せられないため批評の限りではないが何れにしてもこの妥結に基いて各種の懸案事項の解決が促進せられるとするのは行き過ぎた見方である

米土通商協定
交渉成立

【ワシントン一日發國通】米國政府は過般來ワシントンでトルコ政府代表との間に米國トルコ互惠通商協定の締結方につき交渉を重ねてゐたが一日國務省から交渉成立した旨發表された、今回の協定はトルコ側が米國工業産品に就き國税税率を引下げるのに對し米國側はトルコ産煙草等の輸入税率を同樣引下げる事を骨子としたものである

中央物價委員會の低物價政策案
近く總會に附議

【東京國通】政府は戰時低物價政策の本格的強行をなすべく既に總動員法第十九條（戰時價格統制條項）の發動を準備中であるが、中央物價委員會では低物價政策の根本方針の確立に邁進し、既に賀屋、津島、高橋の三主査の手により一應その原案作製を了したので、近く常任委員會を經て總會で決定されることになつた、一方商工省の外局として五月一日より開設される豫定の物價局は八田商相が局長兼任の下に中央物價委員會で計畫された政策を具體的に實行することゝなり、物價關係諸資料の整備に努めると共にその專門委員制を活用して戰時重要物資の價格に關する具體的調査と研究をなすべく鋭意これが陣容を整備擴充することになつてゐる、なほ物價局開設の第一に取上げるべき物資は先づ鐵鋼石炭から更に重要非鐵金屬への順次で之等基本的な物資の原價計算に着手して行く積極的な意圖を持つてゐる

ダンチッヒ問題
波蘭、商議應諾を示唆

【ワルソー二日發國通】ヒトラー總統のウイルヘルムス・ハーフエン演説に對しポーランド政界は深甚な關心を寄せてゐるが、官邊は一日右演説に關聯してポーランド政府はダンチッヒ問題につき進んでドイツ側と商議に應ずる用意ある旨を示唆した

上野安太郎氏

【富山國通】元政友會代議士上野安太郎氏は一昨年來腎臟病療養中だつたが、四日遂に逝去した、享年七十五、氏は代議士に當選すること十回、その間鐵道政務次官を勤めたことがあつた

修水、贛江航行權
完全にわが手中に歸す

【南昌四日發國通】海軍陸戰隊中川、磯野、佐渡原各部隊及び陸軍南下部隊先遣隊は三日早朝來黄家渡より前進を開始し途中三ヶ所における水中鐵條網および閉鎖線を突破、午後三時卅分陸海とも一兵をも損せず南昌北部河岸に上陸した、鄱陽湖南下作戰以來十八日にして修水及び贛江の航行權は完全にわが手に歸し更に敵が洞庭湖と呼應して海軍基地と誇つた鄱陽湖はわが制壓下に慴伏するに至つた

陸海軍會同 南昌感激に充つ

【南昌四日發國通】鄱陽湖を南下し海軍部隊と共に贛江を遡江した陸軍村井部隊は三日午後四時海軍陸戰隊と共に南昌に上陸した

【南昌四日發國通】海軍部隊の上陸により南昌市街は隨所に陸海軍握手の微笑ましい感激の情景を呈し贛江は陸海艦艇の海軍旗と日章旗に蔽はれてゐる

平田部隊機初着陸
南昌舊飛行場整地完成

【○○基地四日發國通】敵が中支における最後の空軍根據地として永年の歲月と巨費を投じ建設した南昌新舊飛行場も皇軍の南昌占領と共にわが手に歸したが、南郷少佐以下の壯烈鬼神を泣かしむる思ひ出のこの兩飛行場はわが陸海軍荒鷲に散々に爆撃されたうへ退却に際して敵は殆ど原形を止めぬ迄に滅茶苦茶に破壞したのでこれが修復は容易なことではないと思はれてゐた然るに占領と共に同地に急行した地上勤務員の晝夜を分たぬ奮鬪によつて南昌陷落後僅か一週間目の三日早くも舊飛行場の整地を完成、○○基地に待機中の平田部隊○○機は勇躍出發、正午無事感激の第一車輪を印した

黄竹市（海南島）占領

【海南島海口四日發國通】島内殘敵の主力を一擧に潰滅すべく嶺口城包圍陣形を縮小しつゝあつた重久部隊は三十一日午後十時百餘條の石垣、重疊せる障碍を突破し遂に定安西南方の要衝龍塘を占領、更らに翌一日は定安東南方三十キロ黄竹市方面に移動せる敗敵を追撃月明下に激戰の後二日午前十時黄竹市を奪取した

山東南部山岳の敵第五十七軍を撃碎

【濟南四日發國通】南部山東省山岳地帶に蟠居しつゝあつた繆徴流五十七軍の第百十一師は數日前小攤にも北上を企圖し、千五百の敵は安邱臨區南方の山岸地帶に侵入し來つたに對し、わが糸川部隊は三日これに對して攻撃を開始し同日早朝安邱南方五十キロ附近で敵二百および五百を相次で撃破、また奧中部隊は同日臨區四十五キロの祝店附近で敵數百を完全に粉碎した、敵は兵器、彈藥多數を遺棄して南方に潰走した

松本中將歸還

【東京國通】南支戰線に活躍した松本健兒中將は三日神戶入港の富士丸で歸還した

陸鷲連日活躍續く
中北支各地を猛爆撃

【○○基地四日發國通】わが陸の荒鷲各部隊は連日に亘り中北支各地の敵蠢動據點を爆撃し多大の戰果を收めてゐるが、二、三兩日に於ける活躍情況左の如し

一、山口部隊の○機は二日藤室部隊の地上作戰に協力し陌南鎮、芮城方面の敵情を偵察、次で黄河沿岸の要衝靈寶を爆撃し敵軍事施設を粉碎、大打擊を與へた

二、原田部隊は二日○機編隊を以て勇躍基地を出發澤州陽城、沁水等各地に巨彈を叩きつけ次いで西安を空襲し多大の戰果を收めた

三、阿部々隊（安井部隊）は三日口河東方二キロの地點を東方に向ひ移動中の敵約五、六百を發見、これを爆碎四散せしめた

四、山口部隊の○機は三日午前十一時翼を連ねて西安を襲擊し敵の地上砲火を尻目に悠々巨彈を投じ軍事施設を粉碎、大打擊を與へた

五、原田部隊の○機は三日武鄉、沁源を爆擊し多大の戰果を收めた

新墻、黄沙街 湯家牌猛爆

【上海四日發國通】艦隊報道部五日午後四時發表＝中支方面において昨三日陸軍部隊の作戰に協力せる海軍航空部隊は湖南省北部の新墻黄沙街及び湯家牌を急襲して敵據點を爆擊しこれに多大の損害を與へたり、黄沙街南端において火藥庫一の猛烈に爆發せるを認めたり

許昌空襲に 張人民自衛軍總司令爆死

【○○基地四日發國通】去る三月二十八日わが須藤部隊が許昌を爆擊せる際同地にあつた人民自衛軍總司令張斗南はわが巨彈を浴びて爆死せることと判明した

陸軍首腦部に御陪食の榮

【東京國通】天皇陛下には四日正午豐明殿に出御閑院參謀總長宮、梨本元帥宮、東久邇軍事參議官宮各殿下にも御臨席、板垣陸相、西尾教育總監、東條航空總監、寺内大將以下各軍事參議官、川岸東部防衞司令官以下中部西部各防衞司令官その他師團長會議に會同中の陸軍將星等四十九名を召され松平宮相、百武侍從長宇佐美武官長等も召されて午餐の御陪食を仰せつけられ更に別殿において茶菓を賜はつた、一同は光榮に恐懼感激して宮城を退下した

わが軍に擊退された三河越境ソ聯兵
六卡に續々兵力增派

去る二日以來日ソ兩軍對峙中の六卡に再び三日午前十一時頃砲を有す約七十名のソ聯兵が一齊にわが方に射擊し來つたので、わが方は直ちに應戰これを國境線外に擊退した、なほ敵の砲兵陣地は河岸ゾルゴール兵舍南方にあり、重機一、輕機三、擲彈筒を有して居り、ブリウンキー、ノウオツルハイツイ方面より六卡附近へ續々增援隊が到着してゐるが右は騎兵約八十、約八十兵步にして重機二、砲三を有してゐる、目下彼我の損害は詳細には判明しないが、わが方にも若干の損害ある見込である

北支關稅問題
日支經濟懇談會席上で 王實業部總長談

【東京國通】四日午前の日支經濟懇談會席上臨時政府實業部總長王氏は現行北支關稅問題に關する日本側の質問に答へ左の如く述べた

一、輸入稅率
稅關收入は政府收入の大部分を占めてをり且つ周知の如く外國借款の擔保になつてゐる現状であるからこれが稅率の修正に當つては充分これらの諸點を考慮に入れる必要がある、從つて輸入稅率を從量稅よりも寧ろ成可く從價稅に改めよとの御希望については今後臨時政府部内において愼重研究を重ね日本側の不便除去に努めたい

一、從價稅
この取扱ひは相當複雜である、技術的研究の餘地が多々あるから一應關係當局に移牒して研究を行はせる

一、海關評價稅の標準
金單位を以てする場合ロンドンの金相場が直ちに影響し收入自體も今日の事情では減退する外ないのであるからこれを廢止してはどうかとのお話であるが臨時政府としてのこれが處置については目下研究中で近く成案を得る見込みである

一、輸出稅
理論的には廢止するのが眞實だと考へるがこれも考慮中

一、轉口稅
これは世界各國に類例なき中國特有のものでこれを何とか早く整理した方がよいのかも知れぬが今直ちに廢止する譯にゆかぬ事情にあり一應政府に報告の上善處したい

一、海關手續
從來日本品に對する取扱に不公平な點があつたかも知れぬが今では殆んど是正されてゐる、海關文書についても英文、華文の外日本語の使用を實現して不利不便を出來るだけ除去したい

中條山脈殲滅戰 綜合戰果

【太原四日發國通】永樂鎮、垣曲附近より黄河を渡河して中條山脈内に進入、南部山西の奪還を企圖せる約三萬の敵を猛攻これを覆滅したわが藤室、岩切、木越各部隊の綜合戰果左の如し

交戰敵兵力約三萬、敵遺棄死體九五〇〇
鹵獲品　迫擊砲二、輕機關銃一一、小銃一二四、同彈藥二六、一〇〇、銃劍九二、青龍刀七一、土工器具四九、手榴彈七一五、棉花四、二〇〇捆、鹽八〇〇袋、曹達五〇〇捆

青島開港を歡迎
英外務次官言明

【ロンドン三日發國通】バトラー英外務次官は三日午後の下院質問時間に際して青島開港に言及し

英國政府としては青島の開港を日本の支配地區における情況が逐次正常化される第一歩として歡迎する旨述べた、タイムス紙も既に卅一日の社說で青島開港に深甚な滿足を表明してをり併せて注目されてゐる

ソ支借款交涉說

【香港四日發國通】U・P重慶電によれば目下モスクワにおいて蔣政權特使孫科とソ聯政府との間に巨額の借款交涉が行はれてゐると

蘇波密約說
タス通信否定

【モスクワ三日發國通】ハヴアス通信モスクワ電報は政界消息筋より得た情報としてソヴイエト政府はポーランド政府に對し戰爭勃發の際にはポーランドに軍需品を供給すると共にソヴイエト原料品の對獨市場を閉鎖することにソ聯ポーランド兩國政府間に諒解なり或は密約を結んだ旨を報じタン、ウーブル兩有力紙が右ハヴアス報道を掲載したゝめいよいよソ聯も英國に呼應して對ポーランド援助に乘出すものとして注目を惹いたがタス通信社は三日右に就きソヴイエト政府はポーランド政府に對しかゝる誓約を與へたこともなく、又かゝる義務を引受けたこともなしとして右報道を正式に否定した

スミス修正棉花法案上院を通過

【ワシントン三日發國通】アメリカ上院南部選出議員の提案にかゝるスミス修正棉花法案は三日上院を通過した、同法案は目下バンクヘッド棉花法案と呼ばれてゐるが、同法案中の棉作者が政府手持融資棉の買戻し數量と同量の生產減少を行ふ場合には一ポンドにつき三仙で融資棉を拂下げると言ふ條項に對し修正が採擇され、右三仙を五仙に引上げることゝなつた、なほ同法案にはこの外政府手持融資棉の減少規定を含んでゐる

參議府會議

四日參議府會議は午後二時より國務院に開催
一、地政局官制
二、衞生技術廠官制中改正の件
を上程審議の上通過した、右二件は六日公布の豫定である

人事往來

▲加藤彬氏（會社員）四日來京ヤマトホテル
▲野口盛一氏（同）同
▲磯前參次郎氏（獨逸製鐵）同
▲瀨沼文作氏（會社員）同
▲淺田義之氏（同）同
▲千葉三郎氏（日本理化工業）同
▲水内忠氏（滿洲工廠取締役）大都ホテル
▲江山初一氏（京城土木）同
▲難波義勇氏（奉天造幣所理事）同
▲竹下隆雄氏（滿洲電線）同
▲大江旅人氏（台灣總督府官吏）國都ホテル
▲飛畑昇氏（ウテナ本舗）同
▲友田壽一郎氏（南洲飛行機製造會社）滿蒙ホテル
▲米岡昌榮氏（滿洲採金會社）中央ホテル

偶語

民生部、弘報處、滿日文化協會その他の官民機關が中心になつて日本語の研究機關をつくり、大いに日本語の普及に乘り出すと云ふ▲今頃そんな機關が出來たのかと世人は驚くに異ひない▲康德四年の新學制公布により日本語は滿洲國語の一つとして重視することは滿洲國の國是として世界に公示されたところではないか▲日本語は滿洲國から見れば外國語である▲外國語としての日本語の研究が滿洲國に於て今日まで行はれたことがあると云ふのか▲日滿一德一心日滿一如を云ふ前に先づ正しい日本語の滿洲國への移入が第一義である、▲されば外國語としての日本語の充分な研究と滿洲國への普及の方法は文教當局は勿論滿洲國が大いに力を致さねばならぬところである▲と同時に國策の第一線にあると自負する日本人諸君は滿洲國に於ては正しき日本語を使用して滿洲國人への日本語教師たる光榮ある自覺を持たねばならぬ

協和生活標語懸賞募集

一、趣旨　滿洲國建國の理想たる民族協和の精神を日常生活の上に徹底的に實現すべく、特に在滿日本人の座右の銘となるべき協和生活標語數ヶ條を募集します

一、用途
1、本標語を挿入せるポスターを作成し、廣く國民に徹底せしめます
2、協和會出版物は勿論官廳會社其他各機關の印刷物に機會ある毎に掲載します

一、應募規程
1、應募者は民族の如何を問はず、但し日本語に限ります
2、各條は標語形式とすること
3、用紙は官製葉書とし、一人十ヶ條以内のこと

一、期限　康德六年四月十五日限り、但し同日の消印あるものは受理します

一、發表　四月廿五日

一、送付先　新京特別市大同大街滿洲帝國協和會中央本部弘報科

一、賞金　採用各條毎に金二十圓、但し同文のもの多數ある時は先着者に贈呈

一、審査員　關東軍報導班、昭和會中央本部、民生部、弘報處、滿鐵、弘報協會、滿洲事情案内所

滿洲帝國協和會中央本部
滿洲弘報協會

三河地方六卡附近で ソ兵又不法越境
滿洲國軍に擊退さる

二日午後三時三十分頃三河鎭地方六卡附近にあつた國軍に對しソ聯兵二十數名は不法越境の後射擊を浴せ來つたので止むなく國軍はこれに應戰中形勢不利となつたソ聯兵は同五十分頃に至り更に輕機二を有する約四十名の騎馬兵の增援を求めたが午後七時に至り遂にソ聯兵は一部を殘して退却した、目下彼我兩軍待峙中わが方損害なし

社說 暫定漁業協定の調印

去る二日、ソ聯との間につひに漁業條約暫定協定が調印されたことは、日本とソ聯との國交上一應喜ぶべきことゝ言はねばならない。日本がかねて主張し來つたところは當然の理由あるところであり、理論上ソ聯はこれをしりぞけることを得なかつた筈であるソ聯が理不盡に日本の主張を聽かず交涉を遷延せしめて來たのは、一種の外交上の作戰でしかなかつたのではないかといふことも今日となつては言へるわけである。それにソ聯の斯うしたやり方は既往にも繰り返されてゐるところであり、われらは別にこれに奇異の感をも持たないほどになつてゐるのである。

しかしソ聯が本協定を調印するに至つたのは、歐洲最近の情勢にも相當動かされてゐるのであらうと思はれる。すなはちドイツの進出に對してソ聯が相當に脅威を感じてゐることは事實であらうし、したがつてこれに備へるためには、東方に於いて無用の事端を滋くすることはこれを出來るだけ避けざるを得ないであらう。漁業問題の如きに於いて日本との間に事を構へることはソ聯にして賢明であるならばこれを避けるのが當り前である。ソ聯近時の動き方がうなづかれるのである。

たゞわれらはソ聯の今後に對してはなほ注視を怠ること出來ぬ、由來これを甘く見れば直ちにつけ上つたやうな態度に出るのがソ聯である。ソ聯外交のジグザグの道はまことに甚だしい。正義はつひには勝つものであるとしてもわれらは不當にかれを乘ぜしめる如きことがあつてはならぬ。

ソ聯はかつては世界赤化を說き、歐洲に於いて、東洋に於いてその政策の實現のために力を盡した。そして一時はその努力も奏効し、相當に成績が上るがに見えた。しかしその後情勢は大いに變化し、ソ聯の世界赤化策は一場の夢に終らうとした。歐洲に於けるスペイン問題の爆發はソ聯が大いに賴みとしたところであつたが、これもつひにフランコ政府の壓迫的勝利によつて閉幕を告げるに至つた。ソ聯は大いにその外交方策を轉換せざるを得なかつた。斯くて曾つては資本主義國として惡罵した英國と結び、或ひはフランスと結び、自己の優勢を保持しようとした。それすら近時大いに弱化し終つてゐる。東方に於いては支那の赤化が大きな賴みであつた。そしてそれは蔣政權の容共によつて一時大いに優勢にも見えた。だがそれもわが皇軍の進擊下に前途の希望は暗澹たるものとなり終つてゐる。ソ聯は又も外交策に轉換せざるを得なくなつてゐるのである。今次示した態度はその最初の現はれと見ていゝかどうか、それは更に今後に於いて示されるであらう。

北滿省公署の新設 愈よ四月末頃斷行
地方首腦部も大異動

政府では國境地帶の强化のため關係機關總動員のもとに國境建設計畫の樹立を急いでゐるが、これに伴ふ北滿の省公署新設は愈よ四月末か或は五月初旬を期して地方首腦部の異動とゝもに斷行することになつた、而して今回の地方首腦部異動に就いては特に各部及び各局との新人有能者を拔擢し省公署首腦部に据ゑ一定期間異動を行はざる方針で相當廣範圍に亙るものとみられてゐる

滿洲工作機械會社 本月末頃設立

政府では五ヶ年計畫に即應して國內に於ける工作機械器具の製作統制を行ふべく豫て準備をすゝめてゐたが、近く工作機械の重要產業統制法への追加を俟つて滿洲工作機械會社を本月末頃設立する運びとなつた、而して同會社は滿洲工廠出資の下に資本金二千萬圓で技術は米國有力會社の協力を求めることゝし本年八月頃操業の豫定である

全通の津浦線 處女列車走る
千百五十キロ快走、四十餘時間

【南京二日發國通】一日早朝北京正陽門を出發した津浦線全通の初列車は二日の朝早くも浦口驛に到着した、北京―浦口間約千百五十六キロ僅々四十餘時間で走破すると云ふ快記錄が見事に樹立されたのである、北京を出た時は薄曇りであつた、初旅客で滿員の一番列車は

北京の

日支獨伊の各國記者團と天津の日本記者團これに軍司令部報道課、北京放送局等の人々を乘せ膨れ上るやうな長蛇を眞つ直ぐに走らせたのである。曇天は黃砂に變つた唐官屯から馬廠へ、德州へ、平源へ、事變直後皇軍が惡戰重ねて南下した火蓋の跡は漸く綠する淺春の大平原を眞二つに切りつゝさうして眞つ向から吹きつける黃砂を浴びて希望の列車は心地よいスピードで進んだ食堂車で食事をとり暮行く窓外に眼をやつてゐると車は水枯れた黃河を渡つて夜中にはもう太原に着いてしまつた、驛の傍に途方もなく大きなイルミネーションの塔が建つてゐる、「慶祝津浦線全通」の大文字だ、列車は皎々と電氣を灯けた儘闇の中を驀進する、夜間は必ず電氣を消すものと思つてゐた、吾々の常識はみじめに打破られた津浦線の安全性は既に內地の鐵道と少しも變らぬところまで來てゐるのだ、たつた一年前匪襲にさらされながら辛ぐも運轉を續けた無蓋貨車に乘つた記者はこの柔かい寢臺の上に橫になつた儘斷燈して走る日がこんなに早く來たことを思つて新たに日本の力の偉大さを考へるのであつた、曲阜の驛で吾々の右側に轟然たる物音と燈のついた巨大な物が飛ぶのを見た、これは浦口發の列車が擦れ違つたのであつた、二日の朝が明けると徐州、こゝのホームには北支と中支との通貨の

交換所

があり、國境の感を與へる、宿縣から固鎭に進むに從つて風物は變り北支の平原は水の多いそして水牛のゐる中支の天地に置き換へられ固鎭、蚌阜の間の三月十三日竣成した淮河鐵橋を渡つた頃から緩い岡の起伏を列車は最後のコースをまつしぐらに走り夕暮の浦口驛に辷り込んだ、大陸縱斷直通列車は見事その任務を完成、この悅びに湧く

北支經濟使節團 財界人と懇談

【東京國通】訪日北支經濟使節團一行と我が對支關係財界人との經濟懇談會は、四日午前十時半より日本工業俱樂部において開會、中國側から團長鄒泉蓀氏以下三十二名、主催者側からは伍堂懇談會々長をはじめ串田萬藏、結城豐太郎、根津嘉一郎、大谷登氏その他多數財界人、更に又特に來賓として八田商相ならびに王中國臨時政府實業部總長等出席先づ伍堂會長の挨拶についで懇談に入り左記の如き日支間貿易、產業上の諸問題につき隔意なき意見を交換した

一、貿易關係事項
イ、輸入稅率ロ、從價稅及び海關評價稅の標備ハ、輸出稅ニ、轉口稅ホ、海關手續へ、華北地方民衆の生活必需品、華北工場に要する機械部分品及び原材料建設に要する材料等に就き日本より供給を仰ぐ事項ト、バーター制擴張チ、華北と日本の輸出入華北生產品の日本以外第三國向け輸出

一、產業關係
イ、工業ロ、農業ハ、牧畜業ニ、鑛業ホ、治水及び水利事業等

于軍ゲリラ戰術 全く挫折

【徐州二日發國通】小癩にも海州奪還山東省侵入を企圖しわが占領地內に得意のゲリラ戰術を以て後方を攪亂せんとした于學忠軍二萬を宿縣東北方地區に包圍したわが○○部隊は去る三月廿四日から一齊に掃蕩戰を開始し各地區においてこれに潰滅的大打擊を與へ、于學忠もわが金城湯池の包圍網地區に右往左往してゐるが、四月二日までのわが○○部隊の戰果は左の如し

敵遺棄死體三千三百、捕虜百六十、鹵獲品＝迫擊砲廿、重機關銃四十、輕機廿一、小銃五百、彈藥一萬五千發

武勝關トンネル 晴れの開通式
僅か八十日で 難工見事完成

【漢口二日發國通】昨秋武漢防衞に敗れるや敵が敗走に當り原型なきまでに破壞した京漢線武勝關トンネルは一月六日着工以來佐藤（質）部隊が鐵道日本の面目にかけて復舊工事中であつたが僅か八十日の驚異的スピードを以て二十八日全く完成し卅一日午後現場において晴れの開通式を擧行した、この日開通式に臨む佐藤部隊長等を乘せた感激の列車は午前七時卅分漢口循禮門驛を發車すつかり春めき野花咲く江北の山野を驀走午後四時卅分すぎ大別山系の南角南武勝關驛に到着トンネルの右側高地に建立された破壞狀況偵察中昨年十月卅一日敵の埋設した地雷に觸れ壯烈な爆死を遂げた尊い犧牲者黑田良之助中佐、村田資邦大尉、大森光雄曹長の三英靈を合祀した武勝關神社に一同心からなる默禱を捧げて後處女列車は四時四十分「祝開通」と大書した大アーチを潛つて入隧靜かに感激の初行をなすこと約三分間で北口に出た

北口で一同再びトンネル內を徒步で佐藤部隊長以下時々立止つては感慨深く內壁を撫で廻しつゝ南口に引返し小丘の上から戰友の壯擧を見守つてゐる武勝關神社に參拜、部隊長から三英靈にトンネル開通の喜びを傳へた、部隊長が色とりどりの春の野花に埋もれた社前に額づき「諸君本トンネル開鑿中敵の地雷に觸れ武漢を目捷に眺めながら恨みをのんで壯烈なる戰死をとげてから玆に五ケ月…」と聲淚とゝもに下りつゝ英靈に完成の報告をなせば言々參列者の肺腑をつき戰友達の間には嗚咽の聲さへ起る、次で野宴場で冷酒を野趣豐かな竹の盃に酌んで大別の連峰も搖げと大元帥陛下の萬歲を奉唱記念すべき開通式を終つた、同トンネルは全長三百四十米南北兩口を爆破閉塞したのみならず內部で機關車三輛を爆破、更に六十數個の地雷を埋設する等その破壞ぶりは全く徹底し復舊は殆んど絕望視されてゐたが、佐藤部隊の作業隊はわが作業妨害のため殆んど連日來襲する敵および工事中執拗に降り續いた雨とも鬪ひながら筆舌にも絕した難工事を續け遂に感激の竣工に至つたもので、この間延人員八、五六二名、支那人六八、七二七名を使用又黑田中佐以下三英靈、支那人四名の犧牲者を出した目下同部隊の手で實行中の武勝關北方獅河鐵橋の復舊工事が四月中旬完成と同時にいよいよ漢口、信陽間二百四十キロに列車の全通を見る筈である

次の戰場は 湖南省北部
支那紙、蔣政權の動搖を反映

【香港三日發國通】重慶來電によれば、日本軍の南昌攻略によつて蔣政權の受けた人心の動搖は意外に甚しく日本軍の次の攻擊目標が何處であるかとの問題は連日重慶各紙を賑はせてゐる、日本軍が既に高安を占領し南昌、長沙間の公路通絡を遮斷した爲早くも長沙進擊が確實視され次の戰場は湖南省北部だとの見解が有力である、今日の重慶大公報は日本軍の進擊を喰止めるため支那軍は速かにその戰略を變更すべしと論じ、遊擊戰の不效果を指摘し支那軍は退却の代りに戰鬪に勝たねばならぬと主張してゐるのは注目に値する

南支及五嶺の地理的懷古（七四）
大宮權平

支那に於ては地方名を表示するに、一字を以てするは一般の慣例にして、各省の代表文字を始め、小區域に至るまで各特有の文字ありて、漢字數萬を數ふるも、一見紛ふことなく、其要を得せしむるは、實に簡潔至妙と感ぜらる、然れども大地域に至つては二字を以てし、大槪相對的に用ゐる、時には一方的の稱も亦存す、例は淮河を挾んで淮北淮南とし、長江を隔て江北江南とし、大行山を中心として山東山西とするも、南嶺大山脈を分つて嶺南の稱あるも、嶺北を使用することなし、現代にあつて嶺南とは廣東省及廣西省の東北部を指示すれども古代は五嶺の南方のみを指せしが如し、弘法大師性靈集中の一句「延曆末年奉使入唐同乘一船、暴風折梔之難、狂汰破船之危、三江泛濫、五嶺馳驟、東洛西秦」所謂五嶺とは文獻上大庾、騎田、都龐、萌渚、越城、（名稱異說あれども）とあり秦代百越（現代廣東省地方）征討の際南進せし五條の行軍路なりし乎左記聊か狀を述べて、懷古の資料に供せんか、大庾嶺一名梅嶺と呼び、梅樹の自然生繁茂を以て古より聞へ「十月先開嶺上梅」の句あり、唐宋より清初に至る幾世紀間、廣東より北上する外來の諸雜貨は、之を踰へ中支北支に運搬せられたる大道にして人馬絡繹往復し、近くは乾隆五十八年（一七九三）英國公使ロード・マカドネー、嘉慶二十一年（一八一六）ロード・アマースト等廣東より北京の行路は鐵道によりしが如く南北縱貫官道たりしが、時代は移り現在は粵漢兩省間の孔道に過ぎずされども挑夫によつて相互の貨物は運搬せらる、所謂挑夫稼業には婦人多きは他省と異なる一特色なり、是男子は南洋出稼華僑の爲なるべし。騎田嶺は一名摺嶺又黃箱嶺及臘嶺と呼び、韓退之潮州左遷の際、通過せし湘粵間の官道なり、今尙韓公走馬嶺の稱あり、湘省南部宜章、彬、兩縣界となす現在粵漢鐵道沿線にて、近き將來皇軍南支部隊の北伐征路とならんか、都龐萌渚の二嶺は、湘省の永州現零陵より南向瀟水流域を遡り、水源山脈即湘粵桂三省界の連山中に消え、地圖上記載あるも現況知る能はず。越城嶺は零陵より湘水を遡り、桂省內に入り湘漓兩水源地帶に於て、東西に連互する山脈の稱呼にして、湘省衡陽より桂省桂林に通ずる大道に當り、就中南京陷落後蔣軍の急施設に成る輕便鐵路貫通するありて、這般南昌陷落し、浙贛鐵路遮斷せられし今後は、長沙衡陽中心の蔣軍には、唯一無二の海港通路として、兵器物資運搬頻繁なるべしと想像せらる。要するに秦始皇南征の行軍路は、東方聖天子の御稜威光被し、皇軍の足跡を印するも近き將來なるべし。

閣議可決事項

定例國務院會議は三日午後二時より國務院會議室に開催左の件を上程可決した

一、滿洲炭礦株式會社法中改正の件 石炭增產計畫遂行に伴ふ所要資金の調達をなすの要あるに因る

二、康德六年度投資特別會計第二準備金支出の件 滿洲電氣化學工業株式會社法第十一條に基く同社康德五年度第一期（自康德五年十月廿四日至康德五年十二月卅一日）決算に對する補給金支出の要あるに因る

滿鐵重役會議

大村新滿鐵總裁就任後最初の重役會議は五日午後二時大連滿鐵本社で開催される

ポーランド外相 ロンドン着

【ロンドン三日發國通】英國訪問のポーランド外相ベック大佐は外務省西歐局長ポトスキー伯を同伴三日午後ロンドンに到着したベック外相は四日午前十一時ハリファックス外相と第一回會談を行ふことゝなつたが、主として英國、ポーランド兩國契約の相互性問題及びポーランド、ルーマニア兩國間の不可侵條約及び軍事的連絡の强化問題が協議される模樣である

波蘭獨立保障の重要性 チ首相力說す

【ロンドン三日發國通】チエムバレン首相は三日午後下院來會議外交討議に際し去る卅一日下院で行つたポーランド獨立保障宣言が英國外交として劃期的重要性を有するものなる事を力說左の如く述べた英國のポーランド獨立保障は英國が今日まで企てた何ものよりも著しくかけ離れたものである、英國外交政策の一新時期を劃し新方向を示したものである、我々は既に傳統的な概念より離脫したのである、我々がかゝる特殊のコミットメントを引受けるに至つたのはドイツの確約が今や全く無視されるに至つたゝめであるこれらのコミットメントは武力によつて世界を支配せんとする計畫を阻止せんとするものであり、侵略に抵抗する如何なる國の協力をも歡迎するものである、但しドイツが善隣政策を取る限りドイツに對しては何等脅威となるものではない

米國政府、駐西代理大使を任命

【ワシントン三日發國通】米國政府は一日スペインのフランコ政府を正式に承認したがハル國務長官は三日新聞記者團との會見において米國政府は駐佛大使館一等書記官フリーマン・マシユース氏をスペイン駐劄代理大使に任命、又フランコ政府からも駐米代理大使としてホアン・フランシスコ・ド・カルデナス氏に對し米國政府にアグレマンを要求して來てゐる旨發表した

住宅問題に就て

―本日休載―

讀者の領分

投稿中傷不可　歡迎

音樂同好者に訴ふ（三）

然らば謂ふ藝術に國境なしと敢へて內地藝術家をボイコットする事を目的とする程狹量ではない、統一機關の效果的發動に依つて精選して貰ひたいものである、首都新京には立派な音樂協會があり指揮者その內容共に充實したものであつて市民のための音樂を無限に提供せんとしてゐるではないか、此種の團體より遙かに低級なものを何故に內地より輸入せんとするか了解に苦しむものである、或は謂ふ新京の音樂協會はあまり高踏的で一般市民に滿足を與へずと或は過渡期にあるため或は適當な慾求者が具體的に申出ないため象牙の塔に入つてゐるのかも知れない、首都新京にある音樂團體は市民と共に相勵め共に樂み相勵ますべき筈の存在であるから聽衆側からどし／＼慾求を出して之の活躍を求むべきであると思ふ若し現在の音樂協會の存在が市民の慾求希望を無視した團體であるならば市民側でこれを無視して市民の爲の市民の音樂團體を作れば良い筈である、音樂は自由な樂園であるべきだ、音樂的に處女地である滿洲を俗惡な亞流の音樂に依つて汚されたくないのが一般識者間の輿論となつて來つゝある事は甚だ喜ばしい現象である、自分は此一般の慾求の一部を代表して飽くまで音樂的處女地滿洲を護り大陸滿洲は自己の叫びと自己の感情の流れを表現する音樂の生れ出る事を待望し健全なる音樂の指導團體が一日も早く强化普及され內地から來る總ての藝術方面の催しが精選され在滿邦人が安心し滿足して觀賞される時の來るのを待つものである（終）

日滿鐵鋼指定商 全部廢止に決定
配給系統簡易化さる

【東京國通】戰時鐵鋼配給合理化のため曩に日本鋼材販賣會社の設立計畫を進めるに當り從來の指定商を全面的に排除する方針を決定したが、これと相呼應して日滿銑鐵の一手販賣を目的とし昨年設立された日滿鐵鋼販賣會社でもかねてより指定商を全部排除する方針の下に具體案を愼重考究中のところこの程成案を得既に日滿兩政府當局の諒解を得るに至つたので三十一日丸ビル本社に重役會を開き協議の結果左の如く正式決定、四日更に商工省と打合せの上近く實施することゝなつた

一、現在の指定商を廢止し指定商たる三井、三菱、大倉日商、岸本の五社は今後日滿鐵鋼の指定問屋たる地位に引下げること

一、從つて現配給系統たる日滿鐵鋼、指定商、指定問屋の三段階は日滿鐵鋼、指定問屋の二段階となるが、取扱量、配給先などを考慮して從來の指定商は大體指定販賣店と稱し中、小問屋と區別する、但し實質的には問屋と何等選ぶところがない

一、指定商の問屋グループへの編入に伴ふ新問屋五と舊問屋十七の販賣比率は日滿鐵鋼が適宜これを決定する

一、日滿鐵鋼は現在川崎造船神戶製鋼、住友金屬工業に對し直賣する以外は全部配給業者に取扱はせてゐるが新機構確立後も當分直賣の範圍は擴大しない

右の如く從來銑鐵配給に關し絶大な勢力を有してゐた指定商も遂に配給合理化の一般的風潮に押され問屋たるの地位に顚落するに至つたことは鋼材配給における指定商排除と共に注目すべき事象である

鏡泊湖水電 愈よ着工
發電量を四萬キロに擴大

所謂東滿電氣ブロックの牡丹江、間島兩省需要電力の大半を供給する鏡泊湖の三萬キロ水電工事は最近東滿地方の產業開發進展により電力需要が激增し豫定計畫擴張の必要が生じたので水力電氣建設局で技術的研究の結果豫定より約一萬キロを增し四萬キロ發電が可能となり此の程全設計を完成、壓力隧道ならびに調壓水槽の工事請負も決定しいよ／＼本格的工事に着手した、よつて五月初旬起工式を擧行するが全工費約九百七十萬圓うち壓力隧道の工費約二百二十萬圓で直徑五米延長三キロの隧道を掘鑿鏡泊湖より牡丹江下流に湖水を流しその落差を利用するもので七年初までに工事を完了するが、これに要する二萬キロ發電機二臺は既に三菱商事に發註を終つてゐる

北支棉花協會結成

【北京二日發國通】北支における棉花の配給統制機關創立に關しては先般來日支紡績團體、日支棉花團體によつて計畫されてゐたが四月一日北支棉花協會が結成誕生を見た、同協會は優良棉花生產出廻りの促進、配給取引の圓滑、價格の適正なる安定を圖るを主要目的とするもので本部を北京、支部を天津、靑島におくことになつた、なほ理事長には在華日本紡績同業會理事後藤緣郎氏が就任するに決定した

北滿江運局開局式

北滿三江水運事業に國策機關としてデヴィユーした北滿江運局の喜びの開局式は去る一日午前十時半より鐵道俱樂部に宇佐美局長、野本副局長以下各船長、船員約五名出席し盛大に開催、局長、副局長より挨拶あり北滿江運局開局を意義づけた、北滿三江の開港を前にして新局約一萬の船員はこれが前途を祝福歡喜し非常に張切つてゐる

新麻袋、麻糸の配給價格決定

滿洲麻袋組合では四月分新麻袋及び麻糸配給價格を決定二日之に關する滿洲麻袋組合理事長談を左の如く發表した

一、現下の情勢に鑑み新麻袋の需給を一層適切ならしめ併せて舊麻袋の效率的使用を促進せんが爲め今般政府の示す處により四月分配給各種新麻袋各一枚に付特別統制料三十錢を加へ左の價格を以て配給することゝなれり

鐵無地八十錢五厘　靑筋八十五錢、エートイル乙八十六錢五厘、六十キロ入七十五錢五厘

二、四月分配給麻糸の配給價格を左の通り決定す

五本撚麻糸一梱に付八十五圓

特產に對する投機的金融抑制
經濟部當局談發表

經濟部では今回の麻袋配給統制により卅日以來大巾低落を續けつゝある大豆相場を更に一層引下げる意圖の下に大豆その他の特產に對する投機的金融を抑制するため一日全滿金融機關に對し貸出制限を行ふ樣通牒を發したが、右につき左の如き當局談を發表した

△經濟部當局談

最近大豆其の他の特產の價格は著しい昂騰を續けてゐるが斯る現象は海外向特產輸出の進展を阻害するのみならず、他面國內一般物價を騰貴せしめる原因ともなり、貿易政策物價政策に惡影響を及ぼし現下の最大問題たる產業開發五ケ年計畫の進展の上にも著しい障害を與へる虞なしとしないのである、斯る點を考慮し政府においては先づ大豆其他の特產の投機的取引に對し徹底的抑制を加ふることゝし過日全滿各銀行に對し特產取引に對する金融上此の際特に愼重なる態度を要望する通牒を發する所があつた、勿論此の投機といつても單に取引所投機のみを指すものではなく地方糧棧其他の特產業者の不當なる騰貴當込の手持をも含むのであるが、要するに今回の通牒は之等の特產投機取引に對し金融的側面より防遏を加へんとする趣旨に出たもので大方の金融機關の積極的協力を要望したものである、政府は今後情勢の推移を監視し必要に應じ適當なる措置を斷行する方針である、要之各銀行とも以上の趣旨に鑑み今後は特產金融については極力愼重なる態度を持し、投機的なりと認めらるゝ方面に對する金融は極力これを引締むるの外、一般的特產に對する金融も適當なる調整を加へわが國產業政策の圓滿なる遂行に寄與せんことを切望する次第である

青少年義勇隊先陣 續々移民地へ
四月中に千五百名

國策移民第一線に活躍する本年度靑少年義勇隊の先陣は四月を期して續々と入滿し各訓練所に入ることゝなつたが、本月中に新京を通過北上するものは七回約千五百名の多數に上つてゐる、詳細は次の通りである

△第一回、四月七日淸津上陸同八日午前十一時新京發臨時列車で北上、出身縣は群馬縣六十四名、香川縣六十一名、新潟縣五十四名、熊本縣五十五名、長野縣六十名その他

△第二回、第一班は四月八日淸津上陸同九日午前八時過京、第二班は十日午前八時三十五分着京、出身縣北海道五十三名、山形縣五十八名、新潟縣五十四名、熊本五十五名、長野六十名、秋田廿九名、岩手廿名その他

△第三回第一班、十二日午前八時三十五分新京着、第二班十三日同新京着、出身縣宮城三十名、福島三十四名、茨城二十六名、福井三十一名、その他

△第四、五回、新京十六日午前八時卅五分着、山梨五十五名、靜岡五十一名、京都五十一名、宮城五十名、三重四十四名、滋賀六十七名その他

△第六、七回廿四日午前八時三十五分新京着、同十一時新京發、出身縣熊本五十名、福島六十六名、山口五十九名、愛媛五十三名、鹿兒島九十一名、大分縣五十七名その他

第一年度實績

開拓國策に拍車をかけるものとして康德五年度より實施されつゝある靑少年義勇隊の第一年度は終了するが、第一年度における實績は左の如く頗る順調さを示してゐる

即ち昨年度入所計畫（本年三月末迄）豫定數量三萬人の中約二萬は昨年末までに入植完了近く昌圖訓練所に入植を完了する約二千三百名並になほ內原に待機中の約五千を加へる時は豫定の三萬人に達し、若き靑少年の大陸開拓神の旺盛さを裏書きする如くである、なほ本年度入植豫定數約三萬二千は左の如く入植する筈である

△輸送期及數量

時期	數量
四月	二、〇〇〇
五月	四、八〇〇
六月	五、一〇〇
七月	五、一〇〇
八月	四、八〇〇
十一月	五、一〇〇
明年二月	五、一〇〇

△入植地

入植地	數量
鐵驪（大訓練所）	一〇、二〇〇
勃利（同）	四、五〇〇
嫩江（同）	四、八〇〇
對店（同）	五、一〇〇
寧安（乙種小訓練所）	
孫吳（同）	二、一〇〇
一面坡（特別訓練所）	九〇〇
（哈爾濱同）	九〇〇
昌圖（同）	二、四〇〇
安達（小訓練所）	一、一〇〇

日滿郵便業務協定修正
一日より施行

交通部では滿洲國、日本國間郵便業務に關する條約に基く業務協定を左の通り修正し、康德六年四月一日より施行した

一、第二十二條（甲）滿洲國業務發日本國業務宛航空郵便物に付滿洲國郵政廳の徵收する航空料の表中「滿洲國、朝鮮（新義州を除く）間」を「滿洲國、朝鮮（新義州、中江鎭及滿浦鎭を除く）間」に改め、（乙）日本國業務發滿洲國業務宛航空郵便物に付日本國郵政廳の徵收する航空料の表中「朝鮮（新義州を除く）滿洲國間」を「朝鮮（新義州、中江鎭を除く）滿洲國間」に「滿洲國（新美州及大連を含む）內相互間」を「滿洲國（新義州、中江鎭、滿浦鎭及大連を含む）內相互間」に夫々改む

二、第二十三條第一號（甲）滿洲國業務より交付する日本國業務宛航空郵便物に付日本國郵政廳の收得する空遞送料の表中「滿洲國朝鮮（新義州を除く）間」を「滿洲國朝鮮（新義州、中江鎭を除く）間」に改め、（乙）日本國業務より交付する滿洲國業務宛航空郵便物に付滿洲國郵政廳の收得する航空遞送料の表中「日（新義州を除く）滿兩國間」を「日（新義州、中江鎭及滿浦鎭を除く）滿兩國間」に「滿洲國（新義州及大連を含む）內相互間」を「滿洲國（新義州、中江鎭、滿浦鎭及大連を含む）內相互間」に夫々改む

國務院辭令

國立大學哈爾濱學院の開設に伴ふ人事は一日附左の如く發令された

任國立大學哈爾濱學院長 敍簡任一等　三毛一夫
任國立大學哈爾濱學院教授 敍薦任一等　牟田淸香
任國立大學哈爾濱學院教授 敍薦任二等（各通）　溝口條七　尾上正男　胡麻本蔦一
任國立大學哈爾濱學院教授 敍薦任三等（各通）　岡倉伯士　中尾德藏
任國立大學哈爾濱學院事務官 敍薦任二等　廣瀨六郎
任新京醫科大學教授 敍薦任二等　伊藤亮一
任總務廳事務官 敍薦任三等 企畫處勤務を命ず　產業部事務官　藤田久一
（四月一日附）
營繕需品局技正 補營繕處第二工務科長　石井達郎
同技正 補營繕處第三工務科長　奧出勇
理事官 補需品處計畫科長 兼總務處庶務科長 兼同經理科長　池田和夫
理事官 補需品處第二購買科長　中島鐵
（三月二十二日附）

商況欄 四日後場

各地株式市況

●大連株式（短期）寄付　大引
五品　[illegible]
東新　[illegible]
滿業　[illegible]
鐘紡　[illegible]
新鐵　[illegible]
滿新　[illegible]
大新　[illegible]
豆新　[illegible]
土木　[illegible]

●奉天株式（短期）寄付　大引
滿取　[illegible]
東新　[illegible]
大新　[illegible]
滿業　[illegible]
同新　[illegible]
日產　[illegible]
五品　[illegible]

新京取引市況

●大豆　先物　寄付　引出來
四月限　五月限　六月限　七月限　[illegible]
●高粱　四月限　五月限　六月限　七月限　八月限　[illegible]

手形交換高

[illegible]

母國訪問記
(6) 敷島高女旅行團便り

三月二十三日　京都―奈良「又來ておくれやす」と愛嬌のよい女中さん方に送られて私達一行は八時二十分宇治へ向ふ。

途中この邊はお茶の名產地であるだけ、方々に茶園が展開せられ今を盛りと濃綠の葉が生繁つてゐた。約四十分かゝつて宇治驛に着く、それから急ぐ先生方に案內せられ宇治川合戰で名高い宇治川橋を渡る、眼下はすごいうづをまき我先にと先を爭つて居るやうな感がした。昔この橋から豐臣秀吉が水を取り自分の茶室に運ばせた由緖ある場所が今も殘つてゐた、近くの平等院に參拜し鳳凰堂へ向つた。こゝはおそれおほくも後醍醐天皇が臨幸あそばされた御ところで非常に御粗末であつた私達は見學して大いに考へさせられるところがあつた。

×　×　×

一旦京都に歸り汽車を乘りかへ奈良に向ふ

古の奈良の都の八重櫻けふ九重のにほひぬるかな

古都として小さい頃からまだ見ぬ奈良に何回憧れたことでせう、もうすぐ奈良につけるかと思ひますと嬉しかつた。午後一時奈良に着く、思つたより靜かな落着いた町なのにやつぱり古都の情緖を强く忍ばせて居る感じが致します。

三條通りを眞直に行きますと、途中開化天皇の御陵を參拜して南圓寺にまいりましたらそこらあたりは鹿の群が見うけられる、皆すぐお煎餠を買つて盛んにおじぎをさせて喜んで居る姿は可愛らしい繪卷を展げられて居ました。有名な五重塔を見ながら南圓寺境內のお隣りに菩提院がありますが、この寺の境內の中に昔小僧さんが大切な鹿をあやまつて殺した爲その罰として生きながら死んだ鹿と一緖に埋められたと言ふお墓がありました、なんだか可愛そうな氣持になります。猿澤池には澤山の鯉の群、柳が糸のやうに軟らかに池の鏡に靜かにうつゝて居る景は落着いて居ます。

春日神社の參道の兩側にはもう何百年經つたのであらうと思はれる杉の古木が高い靑空にすく／＼とのびて居る姿はなにかしら嚴な氣持になります、又燈籠の多い事にびつくりさせられました、どれもこれも靑々とした苔を襲つて居ますのは昔の歷史を固くしのばせて居るやうな感じが致します。

なだらかな若草山、東大寺三月堂、二月堂等の古の建造物、佛像を見學しながら待望の大佛殿に參拜する、殿に入つてびつくりしてしまひました。大佛樣の大きい事！「大きいわね――」とおどろき疲れも忘れて拜觀させていたゞきました。よくも昔にこんな立派な大きな佛像を作つた方々に對して感謝と敬意を表せずにはおられませんでした。どのお寺、神社にも澤山のおぢいさん、おばあさんの姿が見うけられます。お年を召されて居るのによく御參拜なされると感心させられました。銃後にあつて武運長久を祈つておられるのでせう、頭が自然に下りました。約三時間くらゐ見學にすつかりくたびれ重い足を宿にはこびました。【小川、大林記】

家庭

日本人の足は世界一美しい
履物の關係からです

ある解剖學者は日本人程美しい自然な足を持つてゐる國民はないといつて居ります、それは履物の關係で、歐米へ醫學研究に留學した者が、あちの人から

靴下を脱ぎ

素足を出して診察をうける時に、その足は垢だらけで汚れてゐる事と、解剖學的に見て足趾の先が狭く寄り合ひ、ひどいのになると小指が下の方へ押しやられて、上から見ると四本趾のやうに見え、一見不具の足のやうなのに驚くさうです、文化の進歩を誇る歐米人も足だけは非衛生、不自然極まるもので、そこへ行くと日本人の足は小さい時から下駄に馴れて自然に發育し、それに

日本人生來

の清潔癖のために足の綺麗な事は世界一だといひます、下駄をはいた足の運動を解剖學的に見ると、その主要な運動は距小機關節ないし蹠趾關節の間で行はれてゐて、第二趾關節から第五趾關節においては何等これはといふやうな運動がなく、また鼻緒は拇趾と第二趾との間に緊緒を挾み、下駄の重みは横緒によつて拇趾と他の四本の趾とで等分に荷擔してゐますから拇趾は一本で

他の四本の

趾と同じ重量を支へる事になるので非常に發達してゐます、そして歐米人の足は靴で壓迫されて第三趾と第五趾の間が互に密接壓迫して第四趾を背側に轉位させるやうな畸形をなす場合が多いのですが、日本人の足はさうした畸形がなく、ごく自然に發達してゐるので美しいのだといふ事です

家庭育兒讀本
赤ちやんの習慣は母親の注意一つ
先づ排便教育から

一體赤ちやんは生れたては排尿、排便共に不隨意に無意識的に行ふものですが、段々

心身が發達して

例へば膀胱や直腸に於ける壓縮感を認識したり、排泄時に於ける感覺を記憶したりするやうになつて、漸く意識的に適當の場所や、時間になる迄持ちこたへる習慣がつくものなのです、實地調査の結果から考へますと、一般には生後滿一ヶ年前後から一年半位まで晝間の排尿排便が自働的となり

滿一年半から大體二年半位迄に晝夜とも完成して大人並に習慣づけられゝば正當と見做されますが榮養發育の時に悪い小兒は大抵この習慣も著るしく遅れ、甚だしいのは遺尿の部にさへ屬します、そこでこの排泄教育を行ふためには先づ

母親が初めから

相當の覺悟と計畫をもつて臨まなければなりません、徒らに神經質になつたのでは却つて悪結果を殘すのみです、その教育の要點は一定の時間、一定の場所、一定の刺戟、これを反覆的に與る事にありますから一日として例外を作らぬ事が必要です

次にその方法を具體的に述べれば

(一) 生後三、四ヶ月も過ぎ追々首が据り、脊柱も稍しつかりして來たなら最初排便の教育から始めます、先づ朝食後と入浴前に十五分乃至二十分位を限度として規則正しく便器に靜かに腰かけさせる樣な姿勢でさゝげます

特に習慣づけるためにリスンか石鹸坐薬を挿入して直腸に一種の刺戟を與へて誘導するのはよろしいが、一日一回、一週間以上繼續してはなりません

(二) 稍成長したなら毎食後必ずお便所に伴ふやうにします、食餌が

胃の中に入ると

腸の蠕動が盛んになつて自然便を催すやうになりますからこの時間を狙ふのが得策です然し目的を達しなくとも二十分過ぎたら一先づ中止しますかうして排便のために便器につかせますと、排便と同時に排尿し、その方がお襁褓をぬらすより氣持のよい事を悟つて來ます

(三) 生後一ヶ年を過ぎたならば、積極的に(イ)朝目が醒めたら直後の時間に小兒の要求如何に拘らず便所へ伴ひます、規則正しくをモットーに熱心に同じ動作を繰返し

成功した時には

賞めて激勵を與へます

以上のコースが完全になつたら一時間置きに午前に一回、午後一、二回連れてゆく回數を増します

この頃には小兒は片言を覺え始めますから「オシッコ」「ウンチ」等の言葉と動作を結び付けて、子供心に了解のゆくやうその都度繰返して教へます

(四) 生後十八ヶ月頃になつて以上の晝間の習慣がついたなら、夜の訓練に取りかゝります、方法は夜九時又は十時頃時間をきめて、靜かに「オシッコ〳〵」といひきかせ機嫌を損ねぬやうに起してお便所へ連れてゆきます、余り

ねむりが深くて

醒めない場合は、少量の白湯を飮ませたり、玩具を握らせたりして小兒を怒らせぬやうに目的を達する工夫がいります、それから明方迄は十分熟睡させ、早朝一回起して連れてゆきます、この時間はつい洩し勝ですから、母親は時に氣をつけて三十分前位に醒めるやう目覺時計でもかけて必ず實行します

以上の經過を經て小兒が自發的にお便所へ連れて行つて呉れと何かの形で現し、又夜も定刻に目醒めるやうになつた時が排泄教育の完成した時と見做してよろしい

櫻と兵隊

興亞の春を迎へて北京萬壽山の櫻も皇軍の勝利を微笑み、新政を誇つて爛漫と咲き亂れて、戰塵を遠ざかつて春の日を樂しむ將士達の心を和かにしてゐる

火を噴く國境 ソ聯陣地を覗く
阪下健一

(一) 東寧にて

その日は溫氣やゝ加はつたとは言へ烈風は砂塵を巻き歩行に困難を感じるやうであるが記者はH憲兵伍長と共に三岔口の東門に急いだ、三岔口は現在の東寧より約四里東南の烏蛇溝を隔てソ聯と數百米の近距離にある國境の街だ

城門

原の挾信子に入ると直ぐ前に赤い煉瓦の建門が目についた、舊税關で今はソ滿監視兵の屯所だ、もともと三岔口は黒河や虎頭等と同じく建國前まではソ領との密貿易の通路として繁榮した街であるだけにソ領との交通が杜絶しソ聯の國境閉鎖が嚴重になると今度は税關が監視兵の兵舎に早變りしたのであるこゝには五十名程の監視兵が絶えず巡視に鋭い目を光らせてゐる、われ〳〵二人が挾信子の部落(部落と言つても二三の農家しかないが)に入ると赤い建物の屋上の土壘の蔭にあつた機關銃がグヾーッと銃口を動かして二人の眞正面でピタリと停止した、その上で黒い鐵兜が一寸動いた、「狙はれた」と思ふと狙撃されると言ふ不安な氣持がサットかげにしてH伍長の指さす所に從つて視線を走らせる、屯所より左後方に一條の道が山腹に消えて行く、その先きに薄く煙の上る白い街がある、これがこの方面におけるソ聯の軍事據點ボルタフカだ、こゝに有力な正規部隊が駐屯し後方主力の前衛的立場を占めてゐる、三岔口からウラヂオに近い戰略據點ニコリスク(現在ウオロシロフと改稱)まで東へ六十キロこゝからの道が

立派

な戰略道路となつてゐる、だからこの方面にはシュテルン大將麾下の精鋭が頑張つてゐるソ聯赤軍の配備を語るにはニコリスクを除く事は出來ないシュテルン大將を軍團長とする第一獨立極東軍團司令部があり、飛行集團司令部がある、昨年八月まだ耳新しい張鼓峰事件當時出動したソ聯の誇るエス・ベー型爆撃機はニコリスクが基地だ、優秀な超重爆撃機は此處から日本及び滿洲の心臟を目標として日夜猛訓練を續けてゐる、張鼓峰事件當時派遣されて來たといふH憲兵伍長は、

だがあの時は滿領の方は悠々たる態度で三日間この烏蛇溝の河原で街總出の納涼運動會をやつた時には流石の赤兵もあつけにとられた形でした、向ふのゲ・ペ・ウ屯所の屋根の上なんかは見物人で一杯でしたからね

と呵々大笑した、一歩間違へば全面的にも波及せんばかりの張鼓峰事件のさ中、街總出の運動會とは事實ソ聯側も驚いたであらう、三岔口住民の度胸の良さに啞然とする赤兵の姿が見えるやうだ、國境線は氷結した烏蛇溝の直ぐ前を走つてゐる、この方面は一八六六年の興凱湖條約で定められたもので東寧前面の倭字界標を起點として烏蛇溝に沿つて南に下つてゐる、然しその烏蛇溝は水流の關係で變化するので國境の

識別

は仲々困難だ、特に土民は過去の慣習上國境線の概念が呑み込めないため往々にして危禍に逢つたこともある、然しソ聯のゲ・ペ・ウは自己認定の横暴を發揮し國境線を一方的に擅斷してゐるのだ、彼等は上官に對する忠義振りと怠慢の叱責を惧れ、こと更土民を襲撃拉致して情報を集めたのだ、然し最近この附近には餘りゲ・ペ・ウの越境行爲はないと聞いた、滿領の毅然たる態度にゲ・ペ・ウも手も足も出せぬのだらう、烏蛇溝の河岸に立つてH伍長の説明を聞いた記者は更に三岔口後方の高地に登りS中尉の説明で眼鏡を手にした、三岔口の直ぐ前に二、三百米位の高臺がある、一見平凡な高臺に見えるこの臺地は仔細に見ると無數のトーチカが不氣味な銃眼をのぞかせてゐる、なんのことはない高臺そのものがトーチカで、隙間のない武裝された堅牢な陣地だ、秘められたトーチカを加へると數百にも達すると云ふことだ、然もこの高地及びボルタフカの後方西部三四一高地から東部四三一高地までには三線配備の一大トーチカ陣地が

構築

されてゐる、殊にウオロシロフ元帥は「本年にはこの方面に二千のトーチカを増築する」と豪語してゐるからいざとなればその攻撃力は侮り難いものがある、赤軍は背後のこの一大トーチカ陣地を恃みに絶へず攻勢に出でやうとする氣配を見せてゐる、まさに殺氣充滿、虎狼の牙にも等しい

昨年四月までスペイン人民戰線軍の軍事顧問であり赤軍切つての機械化作戰の權威シュテルン大將が張鼓峰事件の雪辱を遂げんと夢見てゐるのだ彼は東寧前面の要地ニコリスク、ウオスキー、コンスタンチノーフスキーに正規師團を配し更にウラジオとニコリスクを中心とする沿海州南部の戰略要地ラズドリノエ、バラバンスラビヤンカ、ポシエトにはそれ〴〵正規師團を駐屯せしめ總兵力約七ヶ師團、十五萬の歩騎砲各部隊と一千の飛行機を集中待機せしめてゐる、この兵力配備から赤軍の作戰計畫は自から

推測

し得られるのである、即ち赤軍は開戰劈頭において一は間島省より朝鮮を狙ひ、一は東寧を突破して圖佳線を窺ふのがその基幹をなすのではなからうか、張鼓峰事件當時シュテルン大將の採り且つ採らんとした軍事的措置はこの點を仄めかしたのであつた、記者は最も手近かなトーチカの内部に突如鐵兜がうごめき、そして旺んに機銃を操手してゐるのを認めた、にぶい夕陽に反射する銃身が左右に動き出した、續いて前面の全トーチカがまるで生氣を吹き込まれたタンクの様にゆすぶり出した今にも發砲せんばかりの殺氣だ

どうです、やつてゐるでせう、なに奴等の日課ですよ威嚇と演習の二股かけてゐる心算りでせう

とS中尉は記者の眼鏡を受取つてニヤリと笑つた、頭から舐め切つた態度である、吹き飛ばされんばかりの

寒氣

も忘れ、暫し呆然と前面の動きを眺めてゐた記者は中尉の此のやうな言葉に思はず安堵感をとり戻した

ラヂオ けふの番組
新京放送局(M・T・C・Y) 五日(水曜日)

朝

七、〇〇(大連)ラヂオ體操・入港船のお知らせ
七、二〇 ニュース
七、二五(大連)初等滿洲語講座 秩父固太郎
七、五〇(大連)朝の音樂(レコード)
一、ピアノと管絃樂 ピアノカサドウジュ 巴里交響管絃樂團 協奏曲へ短調作品七十九 ウエーバー作曲
二、管絃樂 維納交響管絃樂團
一、歌劇「興業主」序曲
二、歌劇「イドメネオ」序曲 モーツアルト作曲
八、二〇 氣象通報
八、五〇 建國體操
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(東京)經濟市況
一〇、〇〇(奉天)家庭講座 春先の身だしなみ 田畔季代子
一〇、二五(大連)料理獻立
一〇、三五(大連)家庭メモ
一〇、四〇(大・新)經濟市況
一一、四〇(大連)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

晝

〇、〇〇(哈爾濱)臺灣演藝 狂言「栗燒」 シテ太郎冠者 コウケツ達次 アド主、泉猛八
(大連)講談社提供キングレコード
〇、三〇(東・新)ニュース
一、〇〇(大・新)經濟市況
三、〇〇(大・新)經濟市況
三、〇〇(新京)經濟市況
四、〇〇(東京)ニュース
氣象通報・ニュース
四、四〇(大・新)經濟市況
五、二〇 ニュース「鮮語」
五、三五(奉天)演藝「鮮語」

夜

六、〇〇(東京)子供の時間 お話 南洋生れの大和魂 松尾孝輔
六、二〇(大連)コドモの新聞
六、二五(奉天)趣味講演 清朝革命秘話 小平總治
七、〇〇(東京)ニュース・ニュース・告知事項・今晩の番組
七、三〇(大阪)國民歌謠 村の少女 喜志邦三作詞 富永三郎作曲 齊唱JOBK唱歌隊女聲部 指導 竹内績子
七、四〇(大連)講演 離滿に際して
八、〇〇(東京)松岡洋右 獨唱 原信子 ピアノ伴奏 多部三郎
一、歌劇「ラ・ヴアリー」カタラーニ作曲 (イ)遠くに行かなければならない (ロ)雪の花
二、歌劇「ドン・パスクワーレ」ドニセッテイ作曲
三、ヴエニスの謝肉祭 ノリーナのカヴアテイーナ ベネデイクト作曲
四、春の聲 ヨハン・シュトラウス作曲
八、二〇(東京)ラヂオ時局讀本 家庭物價の巻(下)
八、四〇 アコーデイオン獨奏 後藤貢公 ピアノ伴奏 小野田昌弘
一、マリネラ
二、たそがれの小島 服部良一作曲
三、愛の夢 ギセッペ・タラントラ作曲
四、マロニエの木蔭 細川潤一作曲
五、アルカラ
八、五五(安東)小唄 唄 松代 三味線 千壽 替手 松
九、一〇(大阪)少女歌劇 櫻井の別れ 堀正旗作 森安勝作曲
一、空や久しく 二、水の出はな 三、春霞 四、紺の前だれ 五、八重一重
寶塚少女歌劇花組生徒 寶塚オーケストラ 指揮 森安 演出 堀正旗
九、三九(東京)時報・ニュース・ニュース解説
一〇、三〇 氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、四〇(哈爾濱)今日のニュース 北滿の時間

學藝

（カット……中野政行畫）

創作 氣輕く獨り呟きながら僕は生きてゐる（下）

遠藤美津男

——「多分、病人といふものは、常にもの憂い氣持を抱くものだらうねえ。」

さうでなかつたら、僕は生きることを選び續けないだらうから。——僕は現に今、こうして或る病院の一室で文字を綴つてゐるが、一體に不思議な神經と腦の活動を意識してゐる。例へば、僕の戀愛の當初には、世界は陳腐だといふ氣がするが、實はそこに發見が胚胎してゐるのだ。然しあまりに頭を濫費したので、今となつて僕の思念は自發的な發見をなし得なくなつたのだらうか？

秩序もなく、少年の頃、思念を濫費したゝめ、當時僕の考へに今よりもつと速力があつたので、もつと魅惑もあつた——考への中の或るものには、如何にも確固として完成された魅惑があつたので、僕にはそれらを書き現はし得るやうな、また魅惑が言葉となつて僕の役に立つやうな氣がしたのだ。

×　×

——その頃、少年哲學者の文句を書きつけた紙片が見つかつた。

「……人間……、戀愛の下敷の人生。頭腦劉選』、時間と歴史と空想の無情……。」

と大體かうだ。これを書いた時の努力が異常なものであり、不快なものであつたことを僕は思ひ出す。こんなわけだから、惑は、却つてそれが早急に失はれてしまつた點にあるのかも知れない。

×　×

「僕、魅惑と人間の美のみに生くる。」

×　×

杏の木から木へ、追ひかけつこをしてゐる二羽の雀を、僕は目で追ふてゐた。すると一羽の鴉か、鴉に似た黒い鳥が、窓硝子に來て貼りつく、急にそばへ來るので、僕の頭は思はずひよいとよける、然しまた直ぐ後でその鳥は去つてしまふ、といふよりは僕が追ひやつてしまふ。その鳥は實は雀の一羽でしかないのだ。窓硝子の中の氣泡がそれを廓大したのだ。雀はまた杏の木にかへつて、跳び上つたり、跳び下りたりしてゐる。

僕は、あの鳥をいきなりもとの木の上に追ひかへさなかつたことに吃驚してゐる。僕自分が誤解してゐた間の時間を意識する。或ひはそれ等のものを正確に認識したりすることが、僕には不自然だからかも知れない。

×　×

僕は興じるともなくそれを見てゐる。どうやら僕には、力が一人手に回復するといふのは大ちがひで、むしろ絶えず力を呼び集めてゐなければならないやうな氣がする。驚きでもすると、直ぐに力が散つてしまふ。

僕は思念の動きを追ひつゞけた。ところがやがて、僕が思念を利用しようと思ふやうになる時が來た。此推移は如何にして行はれたものか僕は知らない、ともすればそれは僕が思念と親しくなつてゐたので、これを利用することは造作もないと思ふやうになつたゝめかも知れない。それともまた……。

然し僕は、自分一個のみに關らないこのやうなことについては何も語ることが出來ない。この時から、僕は獨言した。

——「氣輕く獨り呟きながら僕は生きてゐる。」（完）

——一九三九・三・二一——

滿鐵醫院の一室にて

滿洲歌話會例會詠章

三月二十五日　於國防會館

はる〲と尋ね來りし征く友と支那そば食しつゝ語り會ひにけり　原田榮吉

靴の紐むすぶと踏む滑走路に雪は溶けつゝかそけき音す　野瀬三郎

枯木立透して見ゆる公園の池の氷はいまだ解けざる　今任武夫

すみなれし病室に見舞へるひと〲のうすきショールや春のかほりす　藤山靜江

何ならむ心に解けぬ思ひあり馬車を乘り過ぎ驛者にとはれる　わたなべまさを

かじこしや五十路をすぎしたらちねが文字を學びてたより寄せたり　平山式子

かそ〱と春雨來しか空耳かひそまり暮れて夜嵐の音　津田八重子

うたがひて苦しむ日々のあさ朝はあかしかゝげてわれ吾がに問ひ答ふ　岡村邦子

今は亡き父を助けて柴とりしその山をすらうるべくなれり　平山登志夫

高脚の踊りのなかに交りゐる兒の腰振るを悲しみて見る　池田東

風落ちずこの日も暮れむ夕日さす浚渫船に波打てる見ゆ　向山勘

一つのことにかゝわりおりて想念のまとまらぬ日のつゞく空しさ　田崎登

世の中をきめてかゝれるわが父の太腹に心いまだおよばず　相澤秀昌

おさな手のあやつりなやむ子が箸をしばし眼守れり夕餉の膳に　德富春夫

敗戰支那の記錄 上海の一年（7）

邵洵美　大內隆雄譯

最後の車に乘つたのは私の從弟、私の友人、それに私であつた。その外にはいつぱい本が亂雜に積まれてゐた。眞に奇怪であつたのは、私達は明日又歸つて來て外のものを又運ばうと思つてゐたのだが、私には別な變つた感じがあつたのである、もうこの家に入るのもこれが最後だと思へたのだ。私はそれ〲の部屋に鍵をかける前に、その中に數分立つてみた、あたりを何度か見廻した、すべてのものを深く腦裡に印象づけようとした。私は階下の書齋に一番ながく立つてゐた、それは私達がこゝに入つて來た時に書齋に作つたのだつたが、私はそこではいつも文章を書いたことがなかつた、一冊の本も讀んだことがなかつた、私はずうつと二階の寢室の隣りの小さな部屋で仕事をした。私は何故急にけふこの部屋が親しいものに思へるのかそのわけが判らなかつた、窓の傍の大きな机はぴか〱光つてゐて少しの埃をもこゝに入れしめぬやうであつた、私は又この机と椅子とがぴつたりしてゐるのをはじめて發見した、それに坐れば手と足とが一番いゝ具合に置かれるのだつた、血と思想とはハアモニーをつくつたそして偉大な作品が生れさうに思へた、然し私はもうこの理想的な環境と別れねばならぬのだつた。部屋は全く靜寂だつた、自分の考へすらが音を立てる如くに思へた、それに私の眼が異常に鋭敏になつてゐた、もう私は曾つては夢にも思はなかつた境地に達してゐた。私は机の傍に掛けたあたりの書棚の本はみな擴大され透明になつてゐるやうに思へた、書の背の文字はいかに小さくぼんやりしてゐても私にはゝつきり見えた、私にはその一冊一冊の大事さが判つた、それらは私とは長がの交はりであつた、密切な關係であつた。それらがなかつたら私はどうして生きられたらう？しかし今はこれらの理想の友と私は別れねばならぬのだ。私はもうゆつくりそれらと向ひ合つては居れなかつた私は急に立ち上り、書齋を出て鍵をかけた。

門番は車の傍で私を待つてゐた、彼は私に一つ暗號をこさへるやうに言つた、その暗號によつて今後人を入れるといふのである。私は小さな紙に私の印を押した、私のポケットにはもう錢はなかつた。そこで明日又やつて來る、その時に、と金をやることを暗示した。彼は私に安心するやうに繰り返して言つた。それから一・二八の時にいかにこゝの番をしたか、幣一つ沒くさなかつたかといふことを又も話した。

リアリズムの成果

「暗」—大內隆雄譯—（『日本評論』四月號）

この作が譯出紹介されたことについて岡田三郎氏が東日（三月二十三日）に一文を書いてゐた。それには「大陸を背景とし、大陸を素材として、日本の作家に書かれる大陸文學とは別に、大陸の作家によつて書かれた大陸文學を知りたいのである。純粹の文學鑑賞は鑑賞として大陸人の生活、習慣、傳統、性格、心理等々を理解して大陸人との親和をはかる道は、かれらの文學を知るに如くはないと思ふ。」とある。此意味はたしかによく判る、それは正しいことであり、大いに推奬さるべきことである。しかし古丁氏の「暗」は「純粹の文學鑑賞」として見ても充分にそれに堪へられる作である。作者はこの作では一種の諧謔的な手法を取つてゐる。これは魯迅の「阿Q正傳」などの系統を引くものであらう。形式のみならず、その內容に於いてもそれが知られる。土豪劣紳どもがくだらぬ儀禮の言葉を繰り返す、作者はそれを描寫し、さらに皮肉な解說まで加へてゐる。これは決して無駄な遊びではない、餘裕ある手法と言ふべきであらう。

形式と大體の筋が上述のやうなものであるに拘はらずこゝに描かれてゐるのは滿洲貧農の妻のみじめな、苦しい虐げられる生活である。彼女の上にのしかゝるのは村長とか村の顏役とかの土豪劣紳どもである。夫を失ひ、骨身を削つて田に働いてゐた若い後家が最後には妾にさせるために荒繩で縛られてかつぎ出される……。

これらはきびしいリアリズムの成果を見る。このどつしりした美しい自然の中に、ゆがめられた人間關係のつくり出すけはしい場面を見る。知ることもなく滿洲文學を輕視してゐるやうな人々はこの作を讀んで學ぶところあるべきである。（御垣衛士）

學藝消息

△『新生』近く創刊　雜誌發刊に就て昨年以來知己友人間に諮つてゐた加藤金保氏は今回東京から『新生』として創刊號を四月中旬頃出すことになつた。

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△新大陸（四月號）農機具座談會、北滿の在來農機具、滿洲農業情報等（新京梅ヶ枝町四ノ一二、滿洲農機具研究所、二十錢）

△魂（三月號）（東京市中野區小瀧町四六皇學會、十錢）

"醫は仁術"を實踐
物價騰貴に逆行して
滿鐵醫院は料金引下

物價暴騰時代の波に乘つてもろ〳〵の値上げは當然かの如き實狀にある折柄、之に逆行して滿鐵では曩に全滿所屬醫院に對し開拓鐵道會社としての醫院經營の根本精神を一層具體化する見地から奉仕的に料金引下げを斷行斯界をアッと言はせたが、之に伴つて滿鐵新京醫院に於ても値下げの新規定に從ふことゝなり市民にはこよなき福音として歡迎され、昨今の同醫院は押すな押すなの盛況、病室は完全に超滿員と言ふ頗る多忙を極めてゐる、改正新規定は全面的の値下げで患者には文字通り奉仕的となつてゐるが、その中主なるものを擧げると

一、往診料は從來博士號を有する者一回に付き舊附屬地內五圓、附屬地外十圓、一般醫師舊附屬地內三圓、附屬地外六圓となつてゐたが新規定は此區域別を撤廢して市內一圓を(イ)醫院長一回に付き四圓(ロ)分院長、醫長、副醫長は一回に付き三圓(ハ)診療所主任及び醫員一回に付き二圓(ニ)助產婦は一回に付き一圓、一分娩(分娩及び沐浴七日間を含む)に付き十圓

二、往診料についで藥料、レントゲン寫眞等の値下げと共に、特に花柳病撲滅の見地から從來ネオネオアーセミン(所謂六〇六號)の注射一本五圓を一號一圓六十錢、二號三圓十錢、三號四圓十錢、四號四圓三十錢、五號四圓五十錢とした

その他滿鐵社員に對する五十錢の診察料を全廢する等その値下げは正に劃期的のもので、やがてこれが先鞭ともなり全滿醫界に波及するものと今後の動向を注目されてゐる

ジャブジャブ水遊び子供の池を作る
八島小學校橫の埋立地に

多年附屬地一帶の市民に親まれて來た夏のオアシス白菊町プールは現在底部の龜裂甚だしく本年度は使用不可能の狀態となつたので、專ら大同公園プールを利用する事となつてゐるが、體育聯盟新京事務局では何とかして附屬地一帶の子供等の遊び場所として渡涉池をこさへてやらうと種々適地を物色中であつたが、頭道溝の埋立地に目をつけ八島小學校下に數千坪の敷地をとり本年より經費二萬圓をもつて渡涉池を建設し週圍に樹木を植ゑ、綠地帶として子供專用の樂天地を設けることゝなり目下營繕科の手により土地の交涉並に計畫を進めてゐる

興亞都市代表 ラヂオ放送

【東京國通】帝都訪問中の滿蒙支十都市の市長、隨員一行は四日午前九時帝國ホテルを出發鐵道省大宮工場を視察、正午は首相官邸において平沼首相主催の午餐會に出席した後、午後二時廿分より新聞社を參觀、午後四時には有田外相主催の茶話會に招待され、午後七時から日比谷公會堂の市民歡迎會に出席したが、歡迎會に於る于新京市長、余北京市長、高南京市長、韓張家口市長の挨拶は全國中繼にてラヂオ放送された

靖國神社 臨時大祭

【東京國通】興亞の人柱となつた尊き英靈を祀る靖國神社春の臨時大祭はさきに勅許を仰ぎ百武源吾大將を大祭委員長に廿三日招魂祭、廿四日から廿八日迄の五日間に亘り大祭が執行されることゝなつたが九段の神域の包む櫻は四月に入るとゝもに早くも六分咲となりさながら合祀の英靈を慰めるかの樣である、例年遺族席に當てられる新門わきの櫻は眞先に咲き始めたのもなんとなく奇しき因緣だ、今春は嚴肅な戰時色を反映、境內の興行物も取り止める事になつたが、二日の日曜日等は參拜者の群續き大祭を控へて神域は賑つてゐた、今回合祀される英靈は事變の突發した昭和十二年の秋から暮にかけて北支中支或は支那海に、江上に華々しく散つた勇士の英靈で數日中に其の氏名、戰死場所、日時等が發表されると同時に全國各遺族に招待狀が發せられることになり、當局は目下その準備に忙殺されてゐる、而して光輝あるこの大祭に參列する遺族は二萬餘にのぼるものとみられ、誠に今春の大祭は意義深いものがある

新任の人、離任の人

帝室諸制度の整備に盡瘁
入江宮內府次長の功績多大

豫ねて健康上の理由から辭意を表明してゐた宮內府次長入江貫一氏は三日附を以て辭職方發令されたが、入江氏は日本宮內省內藏頭、帝室會計審查局長官等の要職を歷任し康德元年滿洲帝國建國直後宮內府次長として滿洲國入りをなした、同氏就任當時は宮廷行政は全く混沌として儀典、法制その他の諸制度ほとんど見るべきものなく、又巡狩、經理奏問、警備等の諸形態も全く整備せざる狀態にあつたが同氏は宮內府大臣を輔佐してよく國情に即した帝室諸制度の整備刷新に盡力した、康德元年六月秩父御名代宮殿下御來滿に際しては御接伴萬般に就いて曠古の御盛典をつゝがなく成功せしめ、又典禮、鹵簿、饗宴等接伴に關する萬般の事務を整備し將來の接伴に對する規範を定めた、次いで康德二年四月皇帝陛下御訪日に際し同氏は終始その計畫に當り兩國皇室の御交驩親善の上に偉大なる功績を樹てたがこれより先奉天吉林への御巡狩を御願ひ申上げ、巡狩遂行に關する始めての基準を定めた、なほ帝位繼承法の制定、宮內官令の制定等につき盡力する等滿洲國宮廷行政の上に偉大なる功績を樹てた、入江氏の略歷は左の如し

康德元年四月宮內府次長に特任せられ同二月一日帝室大典委員會委員となり又同年七月宮廷造營籌備委員會委員に親補された、康德四年勳二位に敍せられたが、六年四月三日退官するに至つたものである【寫眞は入江貫一氏】

入江貫一氏語る

滿洲國帝政實施當初より宮內行政に盡瘁し偉大な足跡を殘した宮內府次長入江貫一氏はかねて辭意を表明中であつたが、三日附辭職の發令あつたのでいよ〳〵近く歸國することゝなつた、四日正午自邸に入江氏を訪へば、陽春の陽射し暖かい應接室で溫顏を綻ばしながら離任の感想を次の如く語つた

滿洲國に來てからもう五年になり私も滿六十歳になつた、自分は最後の御奉公と思つて不手際ではあつたが宮內行政の整備に當つて來たつもりである、秩父宮殿下御來滿及び皇帝御訪日もとゞこほりなくすましたことは誠に光榮の至りで生涯忘れることの出來ない感激である

宮廷の制度もほゞ出來上つた狀態でこれからは整理しなければならぬのであるがこの整理には他の人に代つた方がよろしいと考へ又昨年から健康も幾分害して居たので辭職を願ひ出たものである、日本に歸つても今の處別に計畫はない、まあ隱居仕事でもやらうと思つてゐる

企畫局副局長に 半田大同學院教授就任
歐洲留學の古海氏の後へ

協和會今日の功勞者として百萬會員に親まれ、多年苦難の會建設に縱橫の才腕を振つて來た中央本部企畫局副局長古海忠之氏は愈よ五月上旬今後の協和會躍進の準備資料蒐集研究のためドイツ、イタリーを中心として約一ヶ年の豫定で歐洲へ留學することゝなり暫くの間協和會の現職を退くことゝなつた、これが後任には曩に歐洲に留學した現大同學院教授半田敏治氏が就任することゝなり、四日附左の如く發令された、なほ古海氏は當分中央本部委員として殘ることゝなつてゐる【寫眞は新任の半田氏】

大同學院教授　半田敏治
任中央本部委員企畫局副局長
企畫局副局長　古海忠之
依願免職

長春時代と前後十五年
諫山前白菊校長

全滿教員異動による先生方の新京を去る組中市民にはまことになじみ多い白菊小學校長諫山鄉親氏がある、氏は安東大和小學校長に榮轉することゝなつたが、然し未だ正式の辭令を受けず內命によつて六日午前九時三十分發はとで急遽出發赴任することゝなつた氏にとつて新京は切つても切れぬ緣しがある、と言ふのは氏は今から**二十年**前即ち大正八年に曾つての長春時代たつた一つの小學校である現在の室町校の前身長春小學校の訓導として赴任、以來同校に勤續十ヶ年、その間三代の校長に任へ昭和五年開城校長として轉出、ついで本溪湖小學校を經て滿洲建國なるや國都として長春も新京と改稱、躍進的人口增加に伴ひ第三小學校設立すると言ふ昭和九年來京現在の白菊小學校の設立に當り以來五ヶ年同校を育て來た、かくして前後を通じ十五ヶ年間國都初等教育界に盡した足跡は大きい、氏は語る

色々お世話になりました、新京は私にとつて實に思ひ出の多い土地です、在滿教育界に籍を置くこと二十年間の中十五ヶ年は新京に居たのですからこの土地は私にとつて第二の故鄕とも思つてゐるのです、白菊校に赴任致しましてから五ヶ年間、既に四回卒業生を出しましたが、その間父兄各位の御盡援によりお蔭で大過なく今日に至りました御懇情を厚く感謝致します、今後も體の續く限り滿洲國等教育界のために盡す決心でゐます、變らず御指導御教導をお願ひ致します

大內、木村兩校長

櫻木校長大內吉太郎氏も今回奉天蘭生校長に榮轉することゝなつたが、氏も正式の辭令を俟たず五日午前九時半はとで、また錦州小學校長に榮轉の木村八島校長は五日午後一時四十分發あじあでそれ〴〵赴任する

日滿對抗競技 協定決る

【東京國通】滯京中の鈴木滿洲體育聯盟主事は日滿兩國の競技開催方法につき過般大日本體育協會と折衝したところ本體協としては昨年締結した運動競技者統制に關する協定中においてすでにその原則を公約してゐるので、細目協定につき加盟各競技團體と直接折衝のため、卅一日午後七時體協事務所に於てスケート、籠球、排球、體操、馬術、蹴球六團體代表と會見懇談の結果

一、スケート、籠球、排球、體操は何れも全日本選手權大會を開放して滿洲代表を參加させることを承諾
一、馬術選手權がないので賞金なき競技のみ開放し、スキー、庭球(硬球)は選手權開放がほゞ確定
一、蹴球は隔年開催してゐる日滿對抗が現存してゐるのでこれを存續して選手權開放に代へることに決定
一、選手權に際して相手國を特別豫選國と見做すこと
一、スケートはその記錄を開催國の國際記錄とすること
一、オリンピックその他の國際競技參加に際しては選手をして日滿何れかに永久に所屬すべき國籍を任意選ばしめること

の細目協定を行つた、なほ陸上は右の諸事項につき四月一日の理事會で競技決定の筈で水上はすでに選手權を國際的に解放してゐるのでこの原則を滿洲も適用するやう要請中であるから近く態度が決定されやう、又ラグビーは選手權がないので單一チームとの對抗とする模樣であり體協外の卓球軟式庭球には別に折衝の上決定される

今度は自動車修理工
洋服泥棒を御用
街の勇士活躍が續出

相續く街の探偵の活躍、四日午後二時頃市內永樂町三丁目二〇洋服商室田仲三郎氏宅に家人不在につけこんで裏口から忍びこんだ賊が洋服を物色中を隣家の高岡ウネさんが發見「泥棒、泥棒」と大聲で呼び立てたので慌てた泥棒は洋服類八着を包んだ大風呂敷をかついだまゝ表口の硝子戸を破つて路上に飛び出たが、待構へてゐた永樂町三丁目二一時住自動車修理工裴光烈君(一九)金考行君(二六)韓碩欽君(二四)の三名が修理用の道具で足を拂ひ、倒れるところを押へつけて朝日通派出所に突き出した、中央通署で取調べの結果泥棒は住所不定李永相(二〇)と言ひ餘罪ある見込で嚴重取調中

尊き科學の殉職者
遺兒に情の手
衛生技術廠で教育資金募集

科學の尊い犧牲として不幸殉職した衛生技術廠副研究官故河島常行氏及び同夫人の遺兒長男典人君(一五)長女倫子さん(十一)次男敏郎君(八)三男郁生君(五)四男淵君(二)の五名は目下市內興安大路新京牛乳會社二階の自宅で近隣の人々の溫かい手で何不自由なく育てられてゐるが、一時に兩親を失つた五名の弱い幼兒の末永い前途を思ふと故人の靈を慰める上からもぢつとしてゐられないと阿部衛生技術廠長が主唱して「故河島常行君遺兒教育資金」を募集することになつた、一口五十錢で取扱は市內興安大路衛生技術廠中野三四男氏宛、締切は六月三十日で集まつたものは適當な信託預金として遺兒に贈與する豫定である

軟式庭球座談會
本年度の展望を語る
本社主催

愈よ戶外のシーズンを迎へ各種スポーツの奬勵普及により國民體位の向上を計るためスポーツの大衆化に盡してゐる本社では最近恒例の全新京野球大會、全新京庭球大會、京吉マラソン、全新京排球大會等々の催しが計畫され、體育聯盟、體聯新京事務局の諸大會と共に明朗な健康譜スポーツ繪卷が繰り展げられんとする春、これが序曲として四日午後五時より鑑內治三郎(中銀)廉澤亮四(水力電氣)李應麟(興銀)後藤茂(滿鐵)長與次郎(衛生技術廠)麻生迺(體育保健協會)有留勇(滿炭)加藤金保(不動產會社)谷岡郁(電々)梅澤節治(市公署)柳田靜四(市公署)北村體聯新京事務局主事、我孫子(市公署)氏等國都軟式庭球界の一流代表選手を招き市公署會議室に於て軟式庭球座談會を開き、伊藤本社事業部主事の開會の挨拶に次で加藤氏の司會で二時間に亘り本年度軟式庭球界の展望、計畫、希望或は思ひ出話等を語り合ひ七時過ぎ散會した、なほ座談會の記錄は新京商業學校生徒の速記により近日本紙に連載する【寫眞は座談會場】

鐵道愛護 協和少年團
戰時下日本の姿見學

滿鐵では鐵道守備に軍警と協力活躍してゐる沿線の鐵道愛護團地域における協和少年團員に戰時下日本の姿を認識させると共に日本の少年と交驩を遂げしむるため協和會と協力の下に鐵道愛護團協和少年選拔團を訪日せしめる事となつた、選拔された少年は全滿鐵道沿線の農村にある優秀なる十四、五歳の鮮、滿、蒙、白系露人少年五十八名で、この文字通り民族協和の派遣團は來る二十二日奉天で結團式を擧げた上大日本少年團への交驩文を携へ同日朝鮮經由渡日の途に就き一ヶ月間に亘り大日本少年團聯盟の東京少年團との交驩、各方面への挨拶慰問、見學、鎌倉はじめ六地で野營訓練、大阪、京都兩少年團との交驩等を行ひ五月二十二日歸奉の豫定である

松岡前總裁 今夜ラヂオ放送

松岡前滿鐵總裁は六日大連出帆の吉林丸で離滿するが、五日午後七時卅分より四十分間大連放送局より全滿に對し「離滿に際して」と題しラヂオ講演を行ふことになつた

辻强盜 藝妓から現金强奪

四日午後十一時半ごろ市內西七馬路アパート永康非附近路上を西五馬路三一號料亭千歲樓抱へ藝妓秀香こと石森初枝(二一)さんが通行中、日本人風の辻强盜に襲はれ現金三圓八十錢を强奪され附近の派出所に屆け出たので當局では全市に手配目下嚴探中である

角道大會 本年度のプロ

滿洲角道會新京支部設立協議會は四日午後一時半から市公署第一會議室で關係者十數名參集して關屋副市長は開催、規約その他を附議、六年度事業として左記を決定
△五月上旬市內小學校兒童大會△同月十五日新京神社春季祭禮奉納角道大會△同月三十日忠靈塔大祭奉納角道大會△六月中各個所對抗角道大會△八月中全滿都市對抗豫選兼新京選士權大會△九月全滿都市對抗奉天遠征△同月十五日新京神社秋季祭禮奉納角道大會△九月中北滿中等學校角道大會兼全滿中等學校大會豫選

●日滿蒙合同釋尊生誕會●

「興亞の花祭は各民族連繫の下に」と奉天では滿洲最初の試みとして日滿蒙三民族合同釋尊生誕會を八、九兩日に亘り盛大に擧行することになつた、八日は滿人側の行事で午前十時城內小西邊門裡の第二國民高等學校で日滿蒙僧侶の軍警戰歿者慰靈祭、各僧侶の講演あり、九日は日本側の行事で午前十時加茂町公會堂に約二千名の日滿兒童參集、旗行列行進をなし午後一時には同公會堂で灌佛會、日滿蒙各僧侶の日滿軍の武運長久祈願祭、ラマ踊り、夜は日滿兒童演藝會、映畫會が開催される

白衣の天使獻金

富士町同仁醫院看護婦さん一同は小遣ひの內から國防獻金にと貯蓄した金十圓を四日日本橋通派出所を經て獻納した

鐵屑獻納

八島小學校四年生吉本益萬君(十才)並に同校三年生白鳥德司君(十才)妹フミエさんは日頃集めた鐵屑二袋を四日午後本社を通じて獻納方申込んで來た

●バーロータリー獻金●

四月一日創立二周年を迎へたダイヤ街バーロータリーでは時局柄華やかなお祝の催しを廢し、マダム伊藤君子さん外從業員一同で陸軍病院を訪問傷病將士を慰問し金百五十圓を獻金した

訂正

三日附朝刊、全新京武道大會の記事中柔道の部の(東)第三回戰と同準決勝は組違ひに付訂正

「孔子樣もおつしやつた、とかく酒と色とを愼め」とそこで世は非常時なり、我等こそその活模範を示さうと禁酒同盟を結んで會員獲得に乘出した中央通署司法係員、公式宴會などはその限りにあらずと十項目あまりの除外例を作り禁酒勵行につとめてみたが▼時は春、いつしか除外例の區別がつかなくなり同盟はあつ〔け〕なく解消、それではと考へ出したのが防色協定、一切女には…と難しい條項をこしらへたが▼さて協定の立案者が隈、原田、財前の三君、事で女の子には騷がれる色黑たち、どうやらこの協定も長續きはしないらしい…

けふの天氣　北西の風晴時々曇
きのふの氣溫　最高四度　最低零下九度

若殿膝栗毛

（禁上演上映）

中川雨之助

竹越一郎畫

（三百十）

彼女の死

と、一人の捕方が、隙を狙つて、品乃を目がけて手にせる十手を投げつけた。それが狙ひ違はず品乃の眉のあたりに、激しく命中した。

『あッ』

瞼を強く打たれたその痛みで、眼が開けなくなつた。

得たりと香鳥は、突進した品乃の一命は、まさに風前の燈火であつた。

が、素敏く飛込んで來た役人が香鳥を制した。

『待てッ。私の怨みを持つてこの女を討つてはならぬぞ、此者には詮議の筋がある』

役人は、香鳥を制すると同時に十手で品乃の右手を打つた。

打たれて、白刃がポロリ、品乃の手から板に落ちた。慌てゝ、拾はうと手の伸びた品乃の後ろへ逸早く役人が迂廻した。

『神妙にしろ』と、襟元に手が懸つた。捕方の一人が力任せに腰を打つた。腰が砕けて膝をついた品乃の體には、早や捕繩が、グルグルと蛇のやうに絡み付いた。

香鳥は、軍平の行方が氣がかりだつた。

香鳥は品乃を捨てゝ、軍平の逃げ出した席の破れから外へ飛出してみた。が、あたりは只だ一面の暗で何方を指して宜いか、更に分らない。

『また討ち漏らしたか』

神にも佛にも見放されたか……と、無念の眦から、熱い涙が、ポロ〱と頬に流れた。

こちらは品乃。もうスッカリ觀念したか。俛首たまゝ身動きもしない。

『立てッ』

役人の叱咤で捕方がグイと繩尻を引いた。

でも、動かないこと岩の如しだ。

『強情な奴め』

部下を斬られた憤りの役人が足を揚げてハッタと蹴つた。

ガタリ――品乃は横に倒れた。そして、そのまゝピクッとも動かない。

『あッ、いけねえ、血が〱』

捕方の一人が、驚いて叫んだ。品乃は自ら舌を咬み切つたのだ。

蠟燭の灯の照つてゐる彼女の顔は凄いほど蒼白になつてキット結んだ口もとから黒血がタラ〱と、糸を曳いたやうに流れてゐる。

彼女は、もう所詮助かりつこは無い、覺悟をした。この上、拷問の苦痛を見るくらゐなら、いつそ神の御手に救はれて天國に行きたい。心に十字を切りながら舌を咬み切つた。それが彼女の選んだ最期であつた。

活きる路こそ違つて居るけれど彼女も亦一人の女傑と云へるであらう、兎に角、[illegible]れな最期であつた。

この騒ぎの間に、小屋の者は、皆逃げてしまつて、品乃の屍骸が繩付のまゝ、かつぎ出されて行つた頃、そこらあたりに、猫の子一匹さへも居らなかつた。

△

お銀は、この日の朝、島田から大井川へ差かゝつた。

相も變らずのん氣な獨り旅であつた。誰が見ても、仇な中年增の保養旅としか見えなかつた。が、荷持も連れぬほんたうの獨り旅なのが、女が美いだけに、兎角街道での不審な噂の種であつた。

いまそのお銀が、大井大明神の鳥居前からだら〱小道を磧へ降りて來た。

お銀は、昨夜は島田に泊つて、そしてツイ今の先立つて來たばかりであつた。